

★本年もどうぞよろしく。

新しい年を迎えましたが、皆さんよいお正月を迎えられたことと存じます。8ミリ界は多難な年ではありますが、より親睦の輪を拡げて楽しい会に育てていきましょう。OMC会員の皆様、よろしく願いたします。

★前年度、例会出席率59% 作品数67本

前年度の例会実績を調べてみました。例会出席延べ人員は225名、月平均19人弱となり、20名を割りました。前々年度は262名で月平均22名弱でしたので、3名(14%)減ということになります。お互いに呼びかけて出席減を食い止めようではありませんか。作品数は、前々年度69本に比べ67本とまずまずで、本当に8ミリを愛している人は減っていないとも言えます。月平均5.6本でした。皆勤は、岡本、合原の両氏、11回は川畑氏と川口氏2人、10回は有村氏、岩井、上総、那須、増田の5氏。出品数では11本の合原氏をトップに有村氏8本、上総氏6本、5本組は江村、那須、野村の各氏でした。もっとも最多出品の合原氏は「作品の少ないとき困るからと、いつもリバイバル持ってきているから増えただけで、撮影会作品の2本を含め新作は5本にすぎなかった」と、いささかテレ笑いでした。

★OMC新年会で親睦の輪

62年新年会は“何でもお手伝いさせて貰いまつせ”と有難いお申出で堀池さんに連絡等を、なにわ会館会場のお世話を小倉副会長にお世話を願いました。有難うございました。

☆12月例会レポート

師走には珍しい賑やかな結婚披露宴を横

目に見て例会開始。今月は出席20名の大会にのり、めったに見えられない森保信、森かずみの“両森さん”の顔も見えて賑やかであった。京都映像コンでグランプリをとられた野村さんが恒例により、コーヒーとケーキをふるまわれたが、あるいは出席者の増えた原因はここら辺にあったのではないか？

作品も新作ばかり7本と久し振りの活況で時間一杯の上映となった。「テストフィルム」有村博氏、Su・M 3-20。透過光だけで撮ったテストフィルム。良く撮れているとおもわれたがビデオはもっと良い色彩だとか。「過密都市」江村一郎氏、Si・M 10-30。いいカットもあるがや・突っ込み不足。ねらいをもう少し強調してほしい。「わが家のアルバム」森保信氏、Si・M 9-40。ていねいに撮られている出だしに比べ、後半は本人が酔ってしまって、という作者の弁。判る……。『引江の灯』今井羨美氏、Su・M 15分。西淡路のちようちん踊りを伝承されている人の話をうまくまとめれば良い作品になる内容だ。「天狗岳登山」花岡汪氏、Su・M 15分。登山の映画は撮るだけで大変だろうと思う。しばし登山映画の話題が続いた。「バスガイドセンチの男山探訪」合原一夫氏、Si・M 13分。男山の資料片手に観光バスで客を呼べるかどうか調べに来たというアイデア脚本がミソ。

「大和の描絵馬」富永ひさ子さん、Su・M 12分。追加撮影分も含めてうまくまとめられた。

☆1月例会は第4土曜24日 6時20分開会。上六教育会館。絵馬追加撮影会作品コンテスト。

作品持参どうぞ。一般作品もご持参を乞う。

新年おめでとうございます。

去年は健康状態の不安定から、作品づくりや責務遂行の自信が持てず、身軽になりたいと決心してその旨表明しましたが、8ミリ界が低迷、動揺している時だけに、会員の皆さんにかえってご迷惑をおかけしたのではないかと申し訳なく思っています。

主だった方達が協議の上、全面的にバックアップするからということになり、名ばかりの会長ですが引続いて務めることになりました。しかし、健康上のことは別にして、私のムービーへの情熱が消えたわけではありません。それどころか、心ふれあう温かい人情や風習が日ごとに失われてゆくこのクールな時代に、野辺に咲く一輪の花、雑草に宿る一粒の露に詩情を見つけ、社会の片隅で織りなされる人間の哀楽や営みに感動して、フィルムに焼付けておこうと夢中になるあの情熱だけは失いたくないと思っています。

VTRで「撮る」ことを楽しむのも結構でしょう。だが、画面で「こころ」を歌いあげ、表現出来るのはフィルム独自の世界です。

このロマンある映像メディアの中で私達が培ってきた感性を、大切にしていきたいものです。幸いOMCは多彩な人材が揃っており、その「こころ」を知っているベテランが、新年度のプランを練っています。

小倉副会長も健康が回復にむかい、従来通り総務・司会を担当して貰えますし、サポート役として合原、掘池氏も各担当世話役と共にサバイバル作戦のスタートを切りました。

19日の新年宴会。女性タレント出演による春の撮影会。例会場を設備のすばらしい新装なわ会館2F・カルチャールームに変更（4月例会より）。秋の大映写会に向かってのプロジェクトチーム編成など、積極策がつつぎと講じられています。

今の私達には、1人1人が欠くことの出来ない戦力です。会合にもぜひ出席して伝統あるOMCここにありと、その底力を見せて下さい。そして弱音を吐きがちの私の心身に「活」を入れてください。本年もよろしく申し上げます。

1987年1月

OMC会長 川畑健二

★春遠からず……

今年の冬は、寒いと感じた日が何度かあったが、雪らしい雪もなく、このまま春へ衣替えするのではないかと思う今日この頃です。

ついこの間レポート原稿を書いたなあ、と思ったらもう1カ月たってしまい、また原稿に追われる始末。その原稿を書くのはよいがネタが少なくて困っています。情報をどうぞ

★カラオケも飛び出した新年会

1月19日、なにわ会館にて。カラオケも飛び出して賑やかに懇親の輪を深めました。

★例会にBGMテープを用意

昨年12月号(255号)でもお知らせしましたが、OMCでは毎月の例会を賑やかにするためにBGMテープを用意しています。

これはノンタイトル、未編集の撮りっぱなしのフィルムでも、気軽に見せ合うためのもので、何でも結構ですからどしどし出品して下さい。(映写時間は10~15分まで)

また別に、ほこりをかぶったままのリールを引っ張り出して、構成、編集した5分までの作品(これもテーマ自由、タイトル、音なしなど、あってもなくてもOK)も歓迎です。一晩だけでもエジターの前に座って気楽にまとめて下さい。思わぬメイ作がとびだすかも。

★4月より「なにわ会館」へ会場を変更

今の教育会館は近く取りこわされ、つくり直されるということで、会場が使えなくなりますので、4月例会より会場を「なにわ会館」へ移して例会を行います。3月で今の教育会館が最後になりますので、長年お世話になった会場で記念写真を撮りたいと思います。雑

誌などのPR用でもありますので全員勢揃いを期待しています。どうかぜひ、2月例会へご出席下さい。

★春の撮影会は4月19日

恒例の春の撮影会は前田企画担当の手で準備がすすめられています、「シャボン玉」という歌を使った歌謡映画で計画。この歌は知らない方が多いと思いますが川島康子という人が歌って58年にキングから売り出されたものです。イメージ映画ですので、これまでとは違った作品が期待されます。

★1月例会レポート

新年会が1週間に行われたばかりのせいか集まりがいまひとつ。隣室では歌声がやけに賑やかだが、こちらは、集まりは悪いが時間だからと開会の辞。今月は大和の描絵馬追加撮影会へ行かれた方の作品コンテストが行われ、今井、富永、江村、花岡の各氏が出品、審査の結果、1位今井氏、2位富永氏、3位花岡氏、4位江村氏と決定。追加撮影会へ出かけられただけに、いずれも作品の幅が広がっていてよくなっていた。川畑会長評による要旨「ラストに祭りのない作品があったが惜しい」「ラストに畑仕事をもってきている作品があったが弱い」「ナレと不一致画面」

月例の部「冬の日」岡本至弘氏、難しい雪日の撮影に挑戦されたがやはり色調今ひとつ「当世風家造り」合原一夫氏、工業化工法による14階建公団住宅建設風景を描写。

☆2月例会は第4土曜28日。6時20分開会。上六教育会館。記念写真の撮影、ぜひご出席を。作品の持参も忘れずに!

★変な気候の冬だったが、やっぱり春が……

暖冬のまま春になると思われた今年の冬もこの間、ちょうどフジシングル8友の会公開映写会の日に大雪が降ったりして、あわててスキーかついで出かけた若者がいたり…。しかし、フジの公開映写会は薬業年金会館の会場をほぼ一杯埋めてまずはめでたしだったので、雨にもめげず、雪にもめげず、8ミリファンは有難いことで…。フジの世話役もつとめる者の一人としての実感でした。

★久方ぶりの出席者もまじえ盛況の2月例会。

9月例会以来半年ぶりに元気な姿を見せられた香島氏、かねて病気静養中だったが比較的顔色もよく皆を安心させ、思わず拍手が湧いた。またこのところビデオに転向されご活躍中の越本さんは昨年3月例会出席以来だからまさに1年ぶり…。おかげで例年2月例会は出席率が悪いのに、今年の2月例会は20名の大台を突破、賑やかな例会となった。

上映作品：「上高地・松本城」今井羨美さん Su・無声・15分、ちょっと見て貰いましょうということで、まだタイトルも音もないフィルムを持参。完成すればよき記念になろう。「終い弘法」江村一郎さん、Si・Mg 7分。京の東寺で12月21日は終い弘法の日。江村氏らしいアップを多用した迫力ある画面で綴る。「流水曼荼羅」上総修一郎さん、Su・Mg11分。北海道の流水をヘリコプターを飛ばしたりして撮影。さすがにキタの流水は迫力がある。1週間泊り込んで撮影されたとか。オートで撮影とのことだが、色調もよく出ていた。「富士さん」川畑健二会長、Si無声 4分。お

よそ10年ほど前の1月に撮影。今までお蔵入りしていたのを引っ張り出して持って来られた。何でも持ってきて下さいと言った手前、率先して持って来たとは会長の弁。それにしても、富士さんがきれいに撮られておりさすがであった。

映写作品：「6月の雨は」有村博さん、Si・Mg 4分。以前OMCの若い会員だったS君をモデルにしたイメージ映画。「ペッパー警部」有村さん、Si・Mg 4分。有村作品第二弾、ピンクレディーはなやかなりし頃の歌謡映画。カラフルな写真の連続したOL技法など、当時は有村氏が8ミリに燃えていた情熱を感じる記念すべき作品。有村作品3本目は「若葉のささやき」Si・T 3分。天地真理のさわやかな声で歌う歌謡映画。「初詣」井脇務さん、Si・Mg 3分。昨年元旦に住吉大社で撮られたスケッチ。ラストは「幸せになるんだよ」川畑健二会長、Si・Mg19分。一昨年だったか公開映写会で発表され好評だった作品。娘さんが結婚されたときの記録を中心にまとめられたもの。

★お天気が期待される「シャボン玉」撮影会

4月19日、淀川べりで行われる撮影会は、シャボン玉を使ったイメージ映画ということで、当日空が晴れることを祈りたいが、前田さん等企画担当グループは撮影場所のロケ等色々と骨折っておられる。ご苦労に答えるためにも多くの参加者を望みたい。くわしくは3月例会で説明あり。ぜひご出席を。

☆教育会館最後の3月例会は第4土曜28日。見おさめの例会場にぜひ、大勢集ろう!

★カメラショウ雑感

今年も3月下旬、高島屋でカメラショウがあり、見に行ったが、オートフォーカス一眼レフカメラの競演とビデオカメラの新作発表が華やかで、往年の“8ミリ”など全くどこにも見当らなかった。もっとも五光から、8ミリフィルムをビデオにする装置の発表があったのが唯一の関連機材。それも考えてみればビデオが主であって8ミリそのものの機材ではない。いささか淋しくなって催し会場の外へ出ると、ようやく“8ミリ”機材があった。中古カメラ販売コーナーである。もっともそのコーナーに立ち寄ってしげしげ見つめていたのは私だけであったが……。

★18年間お世話になった例会場

長らく使用してきた教育会館がいよいよ取り壊わされ、建て替えられると言うことで3月例会が最後の例会場となった。

早や18年の歳月とのことだが、会員の移り変わりなど、じっとOMCを見つめてきたあの視聴覚室の感慨はいかばかりか……。

来月は新しい例会場「なにわ会館」へ移ることになっているが、OMCの新たな歩みの第一歩ではある。何とか盛りあげていきたいものである。

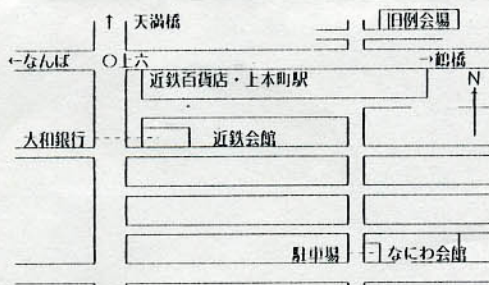
★3月例会レポート

3月例会は20名を越える会員さんの集まりと新作6本、リバイバル1本、計7本の出品があり、久々の充実した例会となった。特に逆光の人工光線を使った抽象映画を発表された有村作品は、撮影技術や照明方法など話題性充分であった。

「住吉さんの白雪ちゃん」富永ひさ子さん、Su・Mg 3分。白馬が住吉さんへやってきたときの記録。ナレーション入りで富永さん久方ぶりの作品。「秋冬」江村一郎氏、Si・Mg 4分。題名を見てポエムかと思ったら、歌謡映画だった。影像関西主催撮影会作品。ムードよく描かれていた。「上高地」横山勇氏、Si Mg 5分。明日から閉山というときに2泊かけて撮りに行かれた由で、ひとしきり上高地談議に花が咲いた。「桃色吐息」有村博氏、Su T 3分28秒。逆光の人工光線で回転するガラス器具、人形などクローズアップレンズで近接撮影するという一種の実験影像。結構でした。「ある日曜スケッチ」香島淳二氏、Su・サイレント 7分。ようやく元気を取り戻された香島氏が8ミリカメラを手に近所へ散歩。「うず潮と淡路島」岩井二郎氏、Su・サイレント 7分。岩井氏も落ちついたカメラワークが堂に入ってきた。「海辺の追憶」合原一夫氏、Si・Mg11分。冬の越前海岸で亡き恋人をしのぶ……。

☆4月例会は25日。なにわ会館での初の例会です。18時20分開会。乞多教ご出席を!

4月は会費納入月です。お忘れのないように。



例会場 なにわ会館 2階カルチャールーム
大阪市天王寺区石川町19-12 tel 06-772-1441

562.5

OMC News

発行 大阪ムービーサークル企画室 川畑健二

大阪市南区谷町6-8-13 〒542
☎(06)761-0034-352-0486

'87.5 No. 260

★公開映写会用作品に、会長やきもき

恒例のOMC公開映写会は、はたして作品が集まるだろうか、川畑会長がやきもき。それもそのはず、ベテラン連中がこぞって、今年は“あきまへん”と宣言するものだから心配されるのも無理はない。撮影会作品も、シャボン玉1本だけだし、と云う次第。皆さん、別の見方をすれば、今年はチャンスかも知れませんが。特に今まで出品されなかった方は、今年こそ1本まとめてみては如何？8月末締切りなので今からでも充分間に合う筈。

★立派な会場で再出発

従来の教育会館は、建替えて等分使えないので、小倉副会長のお世話で「なにわ会館」へ例会会場が移った。なるほど立派なもので、お茶の用意もあり、雰囲気も上々。この上は一人でも多くの出席者と、多くの作品で、賑やかで、楽しい例会に盛り立てていきたいものである。

★4月例会レポート

4月例会は未公開作品6本とリバイバル作品2本、計8本の出品があり、ほぼ時間一杯の充実した例会となった。話題作は、はるばるインドへ行って撮って来られた田中正文氏の「祇園精舎をたずねて・北インドの旅」で作品のまとめ方について議論が沸とう、ときならぬ脚本構成の勉強会となった。

「須磨海岸と鉢伏山」今井羨美氏、Su無声7分。ご家族ともども春の休日を海と山で楽しむというホームムービーのラッシュ。こういうお孫さんのフィルムは、色々まとめて一本に構成し直するとよい作品になろう。

「梅咲く」江村一郎氏、Si Mg 4分。フジ友の会例会で月例賞受賞の証しとして、名誉タイトルがトップにつけられていた。この名誉タイトルのデザインは、フジの世話役も兼ねている川畑会長の苦心作という。作品は江村氏らしい迫力ある描写でよくできている。

「彼岸」これも江村作品、Su Mg 6分。テーマの性格がはっきりしないのが残念。むしろ善男善女をテーマに「お彼岸さん」ぐらいにしてはどうか、とは川畑会長の講評。

「平和公園にて」川畑健二氏、Si無声3分。急ぎ3分映画にまとめてきたという“フィルム”。オリヅルの色がきれいで印象的。

「青信号」合原一夫氏、Si Mg 3分半。かつて野村さんが立派な同名の作品を披露されていたので遠慮していたのを、もう時効だからと旧作を初公開。氏にとっては数少ない歌謡映画の一つ。

「祇園精舎をたずねて・北インドの旅」田中正文氏、Su無声17分。作者の肉声による解説入りで拝見。普通の人では恐らく撮れない貴重な影像記録だけに、ちゃんとまとめればいい作品になると思われる。ここでかなりの時間をさいて質疑が続出、思わぬ勉強会となった。公開映写会用に是非ものにしてほしい。

リバイバルの部「フェリー点描」上総修一郎氏、Su T 8分。49年作品。「槍が岳への道」有村博氏、Su T 20分。52年の公開映写会作品でニココンテスト入選作品。

☆5月例会は23日、第4土曜、18時20分開会
なにわ会館2階カルチャールーム。会費未納の方お願い。大勢集まり楽しくやろう！！

★朝日生命ホール申込み完了、待つは作品…
公開映写会の作品の見通しは不透明なるも今年も例年通りやろうという声が多く、会長より会場の申込みが行なわれたが気になるのは作品の見通し。今からでも遅くはない。ミニ作品でも結構、ぜひご出品を…。

★「シャボン玉」6月例会で公開審査

春の撮影会は淀川べりで歌謡映画「シャボン玉」がテーマでしたが、童心にかえて楽しい一日だった。さて、そろそろ作品も出来た頃、6月28日の例会日が締切りなので、ぜひご持参を。

編集してみて、子どもの出番やシャボン玉などなかなかうまく飛ばない悩みで苦心し、結構難しかったが、さて、ほかの人の出来や如何に。楽しみである。

★5月例会レポート

定刻になっても集まりが一桁にも満たず、もう少し待とうかと、20分ほど待ったが増えそうもなく、「しょうがないなあ、始めようか」と、あきらめの心境で開会。

しかし開会してみると、そのうち一人二人と増えて、いつもの賑やかさを取りもどし、やれやれとなった。夏になって昼間が長くなると益々集まりが遅くなると思うが、どうか、できるだけ早目をお願いしたい。

上映作品：「大和の描絵馬」今井美美氏、Su Mg 11分半。編集しなおしたので見てほしいと持参。昨年春の撮影会作品だが、撮り足しの効果がありあり。

「槍ヶ岳」花岡汪氏、Su無声10分。2年前に行った槍。思い出になる作品だと思うが、未

編集に近いので、整理されるとよい。上がりとりや、ガスのある場面、ない場面など、ごっちゃになっていて見ていると混乱する。上がりを主体に盛りあげた編集をしたい。

「水ぬるむころ」小倉宝蔵氏、Su 19分。小倉副会長の久々の新作。淀川のほとりを散策しながら、自然の風物や昆虫などを描いたスケッチ。なかなかの描写だが、もう少し削ってもよさそう。

「南紀の休日」合原一夫氏、Si Mg 14分。S48年の社内旅行記。もう今は亡き人の顔も出て懐かしい。

「イメージイン西陣」合原一夫氏、Si Mg 4分。京都西陣会館での着物 ショウをメインに西陣の街とそこで働く職職の人とをイメージ風に挿入した一曲作品。

「立山」江村一郎氏、Si Mg 4分。雄大な立山の旅行記録だが、江村作品らしく映像派的に見せる。露出のふらつきが見られたが、カメラのトラブルか。

「ニュージーランドの印象」那須典彦氏、Su Mg 16分。昨年12月に行かれたときの記録。ご自身もはいついて貴重なる記念と思うが、軽いタッチのナレーションがほしかった。

★前田作品、ヒロシマ国際コンに入選。

横山さんより速報として「この道一途」が入選したと報告あり。拍手！7月16日 6時 毎日ホールで公開映写される。ぜひ行こう。

☆6月例会は27日第4土曜。18時20分開会。

なにわ会館2階。撮影会作品「シャボン玉」ご持参されたし。**一般作品もどうぞ。多数のご来場を願う。**

★梅雨に想う

このところ北陸や九州に出張が多かったがいずこも雨にたたられ散々だった。関東は水不足で学校のプールも使えないらしいが、科学の進んだこの世もお天気ばかりはどうも…。嫌な雨も考え方ひとつで風情にもなり、受けとめ方次第では詩情あふるる情景にもなるのだが。そうした雨のポエムを8ミリ作品に一度でいいからしてみたいと考えたりするのだが…。いざとなるとオックウさが先にたち、なかなか…。

★公開映写作品の見通し

会長がやきもきしていた公開映写会の作品も、集まる見通しがつきそうだとのこと、ひと安心だが、数さえそろえばいいというわけにはいかない。お互いにアドバイスしあい助け合いして、少しでもいい作品に仕上げていきたいと思う。出品されない方も、出品者の作品づくりに協力をしてください。

★「シャボン玉」コンの一位は有村作品

春の撮影会作品「シャボン玉」は6月例会で公開審査された。いずれ劣らぬ力作ぞろいで、みな苦心の跡がみられた。参加者15名中、作品出品は11本を数え、まずは大成功と言えるだろう。結果は1位有村氏、2位今井氏、3位合原氏、以下、花岡、那須、河口氏らが続いたが紙一重の差であった。総じてマグネ録音の人は音質的に損をした格好になった。花岡作品；シャボン玉がよく撮っていた。センターフォーカスが小さ過ぎマイナス。全体的にムードに今ひとつ欠けていたようだ。江村作品；画面は江村氏らしく美しい。シャ

ボン玉はきれいだった。タイトルがいつもの江村調で今回のテーマにはそぐはない。

岡本作品；タイトルはうまくマッチしており、画面もきれい。ただ歌詞と画面との不一致が目立った。

合原作品；ムードはよく出ていたし、タイトルもマッチしていたと思うが、マグネ録音の質が悪く損された。またクロスフィルターをかけたため、画面のシャープさが損われた。那須作品；無難な編集で、録音もまずまず。街のイメージが合わないのと、シャボン玉が少しオーバーに出すぎたようだ。

河口作品；色、録音よし。テープの音はやはり良いものだ。街のイメージが合っていないと、シャボン玉を目で追いながら、シャボン玉が次ぎに出ないのが気になった。

井脇作品；ムードはまずまず。期限切れのフィルムが混じていたか、井脇氏にしては色が今ひとつ。マグネの音質もあまり良くない。今井作品；入賞作品だけによく作られている。

街のカットが古い農家で意図にそぐわず。

有村作品；トップ入賞でまずは祝杯！

岩井作品；岩井氏もずいぶん上達された。

前田作品；参考作品として拜見。結構でした。

一般作品「祇園精舎遺跡を訪れて」田中正文氏、Su Mg 16分。前回は無声だったが、音を入れて完成された。貴重なる旅行記録。

「ベンガラ町」河口礼志氏、Su T 9'30"。スタジオ8撮影会作品。岡山県吹屋、銅山と共にベンガラ作りの里でもあったが…。

☆7月例会は25日。第4土曜。18時20分開会。
なにわ会館2階。新作、旧作、短編作品歓迎。

★残暑お見まい申しあげます

梅雨が明けたと思ったら猛暑。熱帯夜で眠れぬ夜が続いていたが、いつの間にか今年も盆の季節となった。となると、「暑中お見舞い」と言うより「残暑お見舞い」というわけで、今年の夏はかけ足の感じであった。皆さん、どうかお体に気をつけて……

★川畑会長再入院。祈御全快

体の不調を感じられて病院の精密検査を受けるため、阿倍野の市大病院に8月11日入院された。58年国立大阪病院の入院治療後、約4年ぶりの再入院で結果が大したことがないことを祈るのみである。

なお、秋の公開映写会の準備には、チームワークよろしく協力し合って成功させよう。

★うれしい新入会者の続出。

先月は中尾さん、今月は藤井さんと長綱さんの2人。この2カ月で3人の方の新入会者があり、拍手で歓迎された。中尾さんと藤井さんは天六クラブで歌謡映画を特に楽しく制作される方々で東京の歌謡コンでも入賞の経歴がある中堅作家である。長綱さんは10年ぶりの再入会で、記録映画などを得意とする作家である。本日も早速作品をご持参されて上映、大へん好評であった。ご住所次の通り。

- ・中尾修二氏 (〒533) 大阪市東淀川区
井高野 1-33-7-301 (340-9333)
- ・藤井道孝氏 (〒569) 高槻市芝生町2丁目
62-5 (0726-94-4364)
- ・長綱俊昭氏 (〒666-01) 川西市清和台東
5丁目 1-41 (0727-99-1060)

よろしくお願いします。

★7月例会レポート

例会日の7月25日は大阪天神祭のクライマックス船渡御のある日でもあり、そのせいもあってか、会員さんの出足し今ひとつ。30分たっても10名そこそこで、なかば“あきらめ”の境地で開会。しかしさすが8ミリ好きの連中、天神祭より例会へと、いつの間にか会員の顔も増えてまずはひと安心となった。外の暑さに比べ冷房の効いたなにわ会館の会場では会員同志の会話ははずんでまずは楽しい例会となった。

トップバッターは新入会の長綱氏俊昭氏の作品「私のテキサス日記」SU・T 20分。語学研修を兼ねた1カ月間の滞在日記で並の観光映画でない貴重な記録。結構でした。

「傷つかないDREAM」有村博氏SU・T 4分。エヤロビクス本の写真をコピーで拡大しセルに貼りアニメにしたカットなど色々なNGフィルムを廃物利用?されてモノにされた。

「桃色吐息」有村博氏SU・T 4分。4月例会以後、再編集されて再上映。ソレラシイ写真がチラチラ入るのがミソ。結構な出来。

「天神祭」合原一夫氏SU・M 20分。天神祭見に行かなくてもこの映画を見た方が判りやすいと、しばしの話に。「秘境雲の平」花岡汪氏SU・T 12分。三脚持参で落ちついた画面、貴重なる山行きの記録。「大阪ごころ」中尾修二氏SU・M 4分。女性を使い雨の日を選んで撮影された努力作の歌謡映画。

☆8月例会は第4土曜22日。18時20分開会。
なにわ会館2階方ルチャールーム。ひと月に1回の例会です。楽しく集いましょう。

★さすが朝夕は秋の気配…

岸和田のだんじり祭がすむと、秋本番近しい感じだが、日中は残暑が続くものの、さすがに朝夕はしのぎ易い秋の気配が漂う。格クラブでの撮影会シーズンでもあるが、OMCの秋の撮影会も公開映写会の方へ気をとられて企画も延びそう…。どなたかいいネタはありませんか。

★川畑会長近況

検査のため阿倍野の市大病院に入院中の川畑会長、種々の検査の結果、どうやら臍臓に異常があるらしいことが判った由。いずれにしても長引きそうとのことだが、いままでの所、外泊で帰宅しておられる。軽症であることを念ずるばかりである。OMC公開映写会を控え、会員一同いま一層のご協力を。

★公開映写会出品作品一応固まる

出品予定者は：川畑会長（魅せられて）、小倉副会長（the KAPPADOCIA）、前田（シャボン玉）、上総（清・濁）、有村（南都七大寺）、増田（隠岐）、今井（引江の灯）、堀池（みちのく紀行）、香島（大台ヶ原）、合原（うちのかみさん）以上（敬称略、順不同）いまプログラム作成中。10月23日（金）の発表会に多くの動員協力をお願いします。

★8月レポート

残暑きびしい22日、なにわ会館の例会場には、定刻の6時20分になっても集まりが悪く30分遅らせてようやく開会。しかし次第に増えて20名の大台をみてほっとする。出品も新作4本、リバイバル3本の計7本が出て、ますますの充実した例会となった。

「私の見たアメリカ」長綱俊昭氏、Su・T 20分。語学研究で滞米させていただきに、市民にとけこんでうまく撮影されている。

「ナイヤガラ・周辺」堀池俊三氏、Su・T 15分。堀池さんの作品は何年ぶりか懐かしい？国内は勿論、世界各地へ旅行されているので、フィルムもかなりストックがあるものと思われるので、どうかこの調子で気楽にご持参を。ナイヤガラの立体撮影は迫力十分、十分観客の目を楽しませてくれた。

「南都七大寺」有村博氏、Su・T 15分。公開映写会用の作品、皆さんの意見により再編集したいと持ってこられた。動きのない被写体をどう映画にするかといった原点に挑戦？

「祭り」江村一郎氏、Si・M 4分。奈良の桜井近くの鎮守の森、氏神様の素朴な祭り。場所が薄暗く、アップでのピン甘が多かった。

リバイバル作品の部：「35年目の夏」小倉宝蔵氏、Su・T 15分。夏の広島で原爆をテーマにした氏の往年の名作。「輪島界限」上総修一郎氏、Su・T 13分。輪島の朝市、輪島塗りから御陣乗太鼓でない珍しい祭りでまとめられた紀行映画。「日本アルプスの四季」増田栄一氏、Su・T 13分。重い機材を持って登山されまとめられた労作。美しい画面が強く印象づけられた。（今月の記録、井協氏）

★OMC存続のため、やむなく会費の改定。

会員数が減り会計は火の車。来期（10月）から半期5千円に。ご協力をお願いします。

☆9月例会は26日第4土曜18時20分開会。なにわ会館2階。10月例会は映写会のため休会とします。映写会に全員の出席を。

私の度重なる入院のため、例会で楽しい談笑もできず、皆様にも大変ご心配をおかけして申し訳なく思っています。

再入院を控えて、10月23日の発表映写会の夜、状況や反響が気になって無理を承知で覗きに行きましたが、盛会でほっとしました。

OMC万歳です。

これも、会員の皆様のご支援は勿論ですが、案内状の原稿から各方面への宛名書き、発送、また会場の打合わせ、進行などの大役をほとんど一人で切り回して下さった副会長や、他の世話役の方達の努力のおかげと心から感謝しています。

さて、私の病気は31年前の十二指腸潰瘍の手術あとに脾臓が癒着していて、それが悪化したため、当分入院生活が続きそうですが、もう一度カメラを回せる日を目標に療養に専念します。他事ながらご放念ください。

皆さんには、輝かしい実績をもつOMCの維持、発展のために私の分も含めて、熱く心強い協力と活動を心からお願いします。

来年度の発表映写会開催を目指していますが、この日に向かってOMCにふさわしい作品の完成につとめてください。期待しています。

では、また例会でお逢いする日まで！！

11月18日

川 畑 健 二

★今年の冬は寒さ厳しい？

晩秋の今日この頃、朝夕の冷え込みで着るものも次第に厚くなりつつあるが、今年の冬は寒さが厳しいとの長期天気予報らしい。寒けりゃ寒いで「絵」になる筈だと、冬の映画をひとつモノにしたいものだが、さて、今年もしんどさが先に立たなければよいが…。

10月のOMCニュースは、公開映写会で例会が休みとなり休刊となったので、2カ月ぶりの原稿執筆だが時のたつのは早い。

★まずは成功の公開映写会

OMC公開映写会は晴天に恵まれたせいもあり、朝日生命ホールをほぼ満員の盛況で埋めつくし、まずは成功のうちに無事終了することが出来た。これもひとえに、会員諸氏のご協力の賜と、ここに厚く御礼申し上げます。

来年の公開映写会をどうするか課題は多いのですが、いい作品を集めることが基本だと思われるので、今から来年へ向けての企画を各自練っておいて下さい。

★川畑会長近況ー 京都映像コンに入賞

大阪市大病院から退院され、一時自宅療養されていた川畑会長、今度は城北市民病院へ入院された。検査、治療に専念されるが、ご全快を祈るばかりである。なお、先ほど行なわれた東映映画村の京都映像コンに川畑会長が「魅せられて」で入賞され、作品づくりで健在ぶりを示されている。城北市民病院は、地下鉄谷町線関目駅より北へ約5分、中4階505号室。都合のつく方は励ましに見舞ってあげてほしい。また、会員の皆様も体には十分気をつけて、ご無理はなさらぬ様に。

★9月例会レポート

本格的秋近しを思わせる9月例会、気候もいいので会員諸氏の多くの集まりを期待したが、20名の大台にもう少しというところであった。会場も広くなったので、せめて20名は集まりたいものである。

さて、9月例会は公開映写会に近いので、映写会作品が2本でた。今井氏の「引江の灯」と合原氏の「うちのかみさん」だが、公開映写会の目玉になりそうと話題をさらった。

「私の見たアメリカ(後編)」長網俊昭氏、Su. T 20分。先月公開の前編に引続きのアメリカ旅行記録。研修旅行の合間の撮影で苦労も多かったと思うが熱心に撮られている。

「旅の思い出・四国」堀池俊三氏、Su T 9分。金平さん、うず潮、あわ踊り三部構成、歯切れのよいBGMで見ていると楽しい。「引江の灯」今井羨美氏、Su. T 18分。伝統の提灯踊りが復活した。作者は熱心にそれを追いかけて、モノにされた努力作。「高原に行く」有村博氏、Su. T 19分。八ツ岳高原へ奥さんと長男と三人で行って来られたときの楽しい記録。長男さんが大きくなられてびっくり。

「うちのかみさん」合原一夫氏、Si. T 19分。ホームムービーの決定版? 「風」江村一郎氏、Si. M 5分。氏らしい表現でうまくまとめられている。「太陽のユートピア」那須典彦氏、Su. M 4分。映像関西撮影会作品。しゃれた音楽による歌謡映画。

★会費納入月。半期5千円、お願いします。

☆11月例会は第4土曜28日。18時20分開会。なにわ会館。月1回の例会で楽しい一時を。

★今年も早や師走…

早いもので、今年も1年たってしまいましたが、皆さんいかがな年でしたか？

★'87年度OMCグランプリ等決定！

'87年度グランプリは合原一夫氏の「うちのかみさん」。会長賞は今井羨美氏の「引江の灯」OMC賞に増田栄一氏の「隠岐」。奨励賞として堀池俊三氏の「みちのく紀行」香島淳二氏の「大台ヶ原」に決定。11月例会で発表、トロフィーが贈られた。

★62年度実績データいろいろ

昭和61年10月より62年9月までの1年間の例会記録を調べた結果、一度でも例会へ出席されたことのある会員さんは31名、20名以上の出席のあった例会は12回中5回、1回平均17.8名、皆勤は前田氏ただ一人、10回以上は今井、江村、小倉、岡本、上総、合原、堀池、増田、花岡の9氏であった。1年間の例会出席延べ人数は215名、ちなみに60年度は225名だったので若干減ったとはいえ、まあまあ線か。一方、作品の方は59年度69本、60年度67本に比べ86本と大幅に増え、8ミリ愛好者の意気盛んなところを見せてくれた。

1回平均7.2本であるが、作品の増えた原因の一つに、川畑会長の気軽に持って来ましようとのキャンペーンで、未完成作品でも出品しやすい雰囲気づくりがあった功績か。

個人的には最多出品者は有村氏の12本（リバイバルが多かったが）江村氏の11本（新作が多くガンバッテおられる）合原氏10本、今井氏7本、花岡氏5本といったところが出品の大どころ。1人平均は2.8本であった。

★川畑会長よりお便り

ご入院中の会長より前号ニュースとともに会員諸氏へ近況を知らせるお便りが届けられたが一日も早い御全快をお祈りするばかりである。川畑さん、頑張ってください！

★11月例会レポート（今月は井脇氏に記録をお願いしました）参加者19名で20名の大会にあと1名というところだったが、常連に加えて越本氏が元気な姿を見せられた。楽しい談笑のうち、少し遅れて7時上映開始。

「フォレストヴィルの思い出」長綱俊昭氏、Su.T 21分。語学研究を兼ねたアメリカ滞在中の記録第4作。滞在先の一家や学生生活を紹介。「秋の詩」江村一郎氏、Si.M 3分30秒。水景色から柿や花などの秋の景色がリチャード・グレーダマンの名曲に乗って素晴らしい映像を見せる。「秋のスケッチ」有村博氏、Su.T 6分、上高地・安曇野周辺のスケッチ。空気が澄んで移り変わる映像が実に美しい。BGMもよかった。「落葉松」山形修氏、Su.T 5分。山形氏久しぶりの作品。長野県の乗鞍岳、焼岳のカラマツをテーマに詩の朗読で綴る映像詩。「砂漠の古都」上総修一郎氏、Su.T 16分。シルクロードの古都、ソ連領のサマルカンド周辺の珍しい建造物や、さまざまな民族など現地の音楽をバックに観客の目を楽しませてくれる。

☆12月例会は1週間繰上げて第3土曜19日。18時20分開会。なにわ会館。

今年最後の例会です。楽しい集いにしましょう。作品も持参新作、旧作、短編オール歓迎。会費未納の方よろしく願います。